学校番号	Ｔ０２０４

令和３年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ａ	単位数	２単位	年次	3,4 年次
使用教科書	高等学校　改訂版　標準　古典Ａ　物語選（第一学習社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・近代以前の文学を中心に学習します。また、それらに関して書かれた現代の文章も扱います。
・古文、漢文の両方を勉強します。
・授業ではプリントを使用します。失くさないように保管してください。
・教科書を毎回使用します。必ず持参してください。
・暗記しなければならないことが非常に多いので、考査前には必ずしっかりと復習しましょう。
・日々の授業を大切にしましょう。また、提出物の期限は守りましょう。

2　学習の到達目標

・伝統的な言語文化に対する理解を深め、生涯にわたって古典に親しむ態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a.関心・意欲・態度	b. 読む能力	c. 知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を高めるとともに，言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	まとまりのある古典を読み，古典に表れた思想や感情を捉え，自分の考えを深め，発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め，知識を身に付けている。
評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート､ワークシート等）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	内容	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点 a	b	c		
前期	古文・随筆	「徒然草」 「方丈記」	筆者の人生観や人間観などを読み取り、その特色を理解するとともに、自分自身の考え方を深め、視野を広げる。	◎	○	○	a：内容を踏まえて筆者のものの見方を理解し、自身の考え方を深めようとする。 ｂ：筆者の人生観や人間観を読み取る。 c：基本的な助詞・助動詞の用法について理解している。	a：行動の分析 ｂ：記述の確認・考査 ｃ：記述の確認・考査
	漢文・故事・寓話	「助長」 「推敲」 「画竜点睛」 「三国志」	比較的短い文章を読んで漢文に親しむとともに、登場人物の考え方や話のおもしろさを味わう。	○	◎	○	a：話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとする。 ｂ：登場人物の考え方を理解する。 ｃ：漢文の基本的な訓点の読み方、書き下し文等について理解している。	a：行動の分析 ｂ：記述の確認・考査 ｃ：記述の確認・考査
後期	古文・物語	「伊勢物語」 「大和物語」 「源氏物語」	和歌の修辞法や歌合をめぐる登場人物のやりとりを理解し、物語の世界を読み味わう。	○	○	◎	a：話のおもしろさを味わい、登場人物の生き方などについて考えようとする。 ｂ：登場人物の心情と物語の展開をおさえて和歌の内容を理解している。 ｃ：和歌の修辞法について理解する。	a：行動の分析 ｂ：記述の確認・考査 ｃ：記述の確認・考査
	漢文・諸家の思想	「孟子」 「老子」	基本的な句法・語法を理解する。 儒家・道家の思想について理解する。	◎	○	○	a：個々の相違点を意識しながら、それぞれの思想家の主張を理解しようとする。 ｂ：簡潔な表現や巧みな比喩に注目しながら、内容を的確に読み取る。 ｃ：基本的な句法・語法を理解する。諸子の思想について理解する。	a：行動の分析 ｂ：記述の確認・考査 ｃ：記述の確認・考査

※　　表中の観点について　a.関心・意欲・態度　b. 読む能力　c. .知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することになるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について、優先度の高いものから、◎、○、空欄として示している。